

県大生 入河内で獅子舞

安芸市 地域の文化継承手伝う

った経験を、年代が違う人とのコミュニケーションに生かしたい」と話していた。
(加藤風花)

【安芸】安芸市入河内の

船岡神社で3日、秋の神祭が行われ、高知県立大学の学生が獅子舞を披露した。学生が地域について学びながら伝統文化の継承を手伝おうと始めた取り組みで、今年で10回目。

入河内を含む東川地区で2015年、県立大社会福祉学部の田中きよむ教授らが住民の困りごとなどを調査。獅子舞の担い手不足が課題に挙がったことから、田中教授のゼミ生らによる

奉納が始まった。

今年は3、4年生の4人が10月に東川公民館を訪れ、地域の人から踊りを教わった。この日は太鼓と鐘の音に合わせ、テガイコが竹の棒に紙の束を付けた「ザイ」を振り回して獅子を退治する舞をはつらつと披露した。

兵庫県出身で今年初参加の西村文瑛さん(22)は、「緊張したけど楽しく踊れた。県外の病院に就職するが、知らない土地の文化を教わ



獅子舞を披露する高知県立大学の学生たち

(安芸市の船岡神社)